

一羊会だより

発行
社会福祉法人一羊会
事務局 〒663-8241
西宮市津門大塚町1-47
電話 (0798) 31-1760
FAX (0798) 31-1763



竹村幸恵 「たらしり」

1965年生まれ。色彩には並々ならぬ興味があった彼女が、大筆にたっぷり含ませた絵の具を、白い上にベッタリと滴らせた初めての体験の感動は今も続いている。真剣な眼差しで色の滴の動きを目で追いながら、小さくうなり声を上げ、色彩世界でのしばしの陶酔を存分に遊んでいる。

2019年2月28日～3月9日の期間、あとりえすずかけ内で行う展覧会「すずかけの間 その3」で、竹村さんの作品を展示しました。

また、3月2日(土)には竹村幸恵が会場に滞在し、作家による実演！生たらしりを鑑賞していただきました。

当日は、出張カフェもオープン！Aptime CAFÉコーヒー（すずかけクッキー付）300円も大好評でした。



理事長 三浦 昇

新年を迎え、早3ヶ月が経過し新しい元号が気になるところですが、改めて本年もお付き合いの程よろしくお願い致します。

又、年始めの西宮十日戎での募金活動では寒い中ご協力いただきまして、太田後援会会長を始め後援会会員の皆様には重ねて御礼申し上げます。

昨年は「災」の字に代表される様に災害の多い年でした。又、景気の動向や、国際情勢など、不安要素が感じられるこの一年の動きであったと思います。

福祉の分野に限らず人材不足の状況は慢性的なものがあり、外国人労働者の登用といったことも現実味を帯びてきました。

障害福祉分野でも人材不足は否めず、特に介護を必要とする人たちの支援については人材不足で思うように事業が進んでいません。

西宮市においても震災以降、制度問題、財源問題を抱え、更には人材不足が拍車をかけ、あまり進んでいないのが実情です。

一羊会の基本理念、「住み慣れた地域の中であたりまえに働き、活動し、いきいきと暮らせる事を目指します。」「一人の人間として大切にされ、自分で決める事が尊重される様な支援を目指します。」「地域の方と協力し、みんなが安心して暮らせる地域づくりを目指します。」にあるように、私たちは多くの共感、協力を得ながら自覚的、創造的に目的に向かって進んでまいりました。

一羊会だよりを通して、その歴史を振り返りな

がら、これまでの取り組みができてきたのも本当に多くの支えがあればこそと実感しています。改めて、深く感謝申し上げます。

現在、一羊会は来年度の事業計画の策定に向けて、職員がそれぞれの立場で知恵を出し合いながら検討しているところです。

取組の根幹を成す人材の確保、積み残している移転問題や北部の事業展開、グループホームの開設等も何とか次年度には見通しを立てたいと考えております。

国の動向をみていると、国際情勢、災害、働き方改革、消費税、社会保障問題等の課題山積みの中、障害福祉の制度の今後の動向については、先の見通しがもちにくい状況ではありますが、育成会活動（親の会活動）の原点である、希望に向けての線路をひきながら終点の無い取り組みとして続けていかねばならないと考えています。

特に「すずかけ作業所」の移転開設に当たっては約5億の事業費、西宮市北部のホーム、日中活動場面の建築開設に当たっては約3億の事業費が最低必要です。

一羊会も資金の工面に努力しておりますが、少しでも借入金減らして事業を進めたいと考えており、一羊会后援会の応援もいただきながら更なる資金確保に動いてまいります。

本年が皆様にとって少しでも良い年であることを願いつつ、遅くなりましたが、新年のご挨拶とさせていただきます。

報酬改定

2019年の4月に診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等の報酬改定が行われたことは、多くの方がご存知だと思います。

今回の報酬改定では、就労継続支援B型については利用者の平均工賃額により基本報酬が決まる形となりました。事業所によっては、2018年度よりも基本報酬が高くなった所もあったようですが、法人内に目を向けると新たな加算の取得や定員変更で減算を食い止め乗り切ったというのが現状ではないかと思っています。

すでに3年後の報酬改定に向けて国の方では動き出しています。ポイントとして支援の質を問うていくということが言われています。では、その支援の質とは何なのでしょう。今回の報酬改定では、利用者の平均工賃額が高いこと=支援の質が高いという基準の一つとなりました。本当に利用者の平均工賃額の高さが支援の質の基準になるのでしょうか。

そこで考えてみたのが、健常と言われる人達が仕事を選ぶ基準はどこにあるのかということです。もちろん、給与が高いということも大事な要素だと思いますが、それが全てではないように感じています。仕事に対するモチベーションの中には、誰かの役に立っている、感謝される・仕事が楽しい・達成感があるなど人それぞれではないか。障害のある人たちの働くも同じように考える事ができると思います。そのように考えたときに、支援の質を問うと国は言っていますが、就労継続支援B型の質は利用者の平均工賃額だけなのでしょう。それ以外の支援の質がないのでしょうか。もちろん、2017年の就労継続支援B型事業所の平均工賃額が15603円では低く、住み慣れた地域で一人暮らしをするには年金と合わせても難しい金額ですので、もっと上げる必要はあります。支援者は利用者の工賃を給料に変える努力を続けながらも、今後に向けて障害のある人の働く事を整理する時期なのかもしれません。

一羊会後援会

十日戎募金活動のご報告と御礼

一羊会後援会では、西宮神社様のご理解とご協力をいただき、今年も1月9日から11日の3日間、西宮神社赤門及び南門において募金活動をいたしました。

昨年に続き、「すずかけ作業所の移転建て替え」の資金集めを目的として実施しました。

幸い天候にも恵まれ、(一社)西宮市手をつなぐ育成会の会員の皆様と勤務後に参加した(福)一羊会の職員を含めて、延43名の参加となりました。

おかげさまをもちまして総額320,569円の善意が集まりました。

その中には「街頭に立てないけど協力します」と各事業所の利用者ご家族から、数件ご寄付いただきました。

この全額を社会福祉法人一羊会本部会計に寄付入金し、すずかけ作業所の移転建て替のために積み立てさせていただきます。

末尾ではございますが、ご理解とご協力頂きました多くの方の善意に感謝するとともに、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



一羊会後援会 会長 太田 博
理事長 三浦 昇

十日戎販売

例年同様1月9～11日にかけて、あとれすずかけ前にて十日戎の出店販売を行いました。9日早朝は雨が降っていたものの、その後は好天に恵まれ、大いに賑わいを見せました。

むこすずのゆずスティックケーキ、すずかけの鍋つかみ、上甲子園のブローチやあとれの一筆箋など各事業所が趣向を凝らした自主製品も評判が良く、購入いただいたお客様の笑顔を見ることは何よりも励みになり、利用者の皆様の自信にもつながると確信しています。

また、お客様から「毎年ここに来たら買っているんです」とのお言葉もよく頂きました。そのような長きに渡り当法人の活動にご理解いただき、利用者の皆様ががんばって作った自主製品を愛して下さる方々に支えられて今日まで来られたと改めて実感し、感謝したいと思います。今後も変わらぬ良さを守り続けながら、飽くなきチャレンジ精神も持ち合わせ、より良いものを皆様にお届けできればと願っています。



武庫川すずかけ作業所 吉原 理智

あとリエ忘年会

2018年12月20日と21日に、あとリエすずかけで忘年会を開催しました。この企画は毎年、普段あとリエで活動をしているみなさんへの感謝の意味を込めて開催しています。今回の出し物は、毎回出演している広報部の神田さんやあとリエ光永の演奏の他に、ジョイントの久保さんの華麗なマジックショーや、武庫すすの中村さんによるレアな弾き語りなどがあり、盛り上がりたり盛り上がらなかったりの楽しい会になりました。特に神田さんが歌っているときの、舛次さんの「素晴らしい」と言わんばかりの表情が忘れられません（光永が歌っているときは一生懸命ケーキを食べていました）。後半は、あとリエの三栖さんが作ってくれたビンゴとくじ引き大会を行い、



みなさん当たったものを見てワイワイとこちらも盛り上がりました。1日目の最後は来年の抱負を聞き、尼崎さんは自分の商品が売れたことがとても励みになったことや、来年もあとリエでもっと頑張っていきたいことを熱く話していました。この時、いつの間にか司会進行が小山さんになっていたのも面白かったです。最後は小山さんによる「打ち止め！」の素晴らしい挨拶で終了。みなさま本当におつかれさまでした。今年も楽しい一年にしましょう！

あとリエすずかけ 光永



法人新年会

2019年1月19日(土) 関西学院会館「光の間」にて、一羊会新年会が開催されました。来賓、利用者、支援員が続々と集まる開始時刻前の「光の間」では、久しぶりの再会を喜ぶ姿がありました。直前になると、司会を務める一羊会の久保より、「新年のあいさつを練習しましょう!」との声がかかりました。「(司会)あけまして」「(会場全員)おめでとうございます」と、それぞれのテーブルから大きな声が響きました。練習の成果もあり、皆さまの明るい挨拶と共に新年会が始まりました。

来賓祝辞を終えて乾杯の時間になると、事業所関係なく乾杯の発声をした人がステージに上がりました。賑やかな雰囲気の中「乾杯!」の声と共にコース料理のスタートです!

食事中には、毎年恒例になりつつある各事業所代表の挨拶がありました。新成人や新任支援員、また事業所代表の利用者さんが今年の抱負を発表しました。すずかけ作業所の代表として挨拶をする利用者さんは、支援員と一緒に発表したいことを考えてメモを作成し、当日の朝には作業所で練習をしてから本番を迎えられておられました。他の事業所の利用者さんもメモを持って壇上に上がるなど、新年会の為にしっかりと準備をされてきた事がうかがえました。

各事業所代表者の発表後は、打楽器3名とピアノ1名のfrap(フラップ)さんの演奏がありました。frapさんは、「誰でもどこでも、みんなが笑顔になれる音楽を」を合言葉に、バリアフリーコンサートなど関西を中心に活動されています。一羊会新年会でも馴染みのある曲が演奏されていました。1曲目はテンポの速い「剣の舞」でした。利用者さんだけでなく支援員からも「お~!」と驚きの歓声が上がっていました。2曲目の「さんぽ(となりのトトロ)」では、歌が始まると会場のあちらこちらから手拍子と共に歌声も聞こえてきました。ステージ前方の司会者用のマイクを持ち、曲の最後まで熱唱されている利用者さんもおられ、frapさんの演奏は大いに盛り上がりました。

作業所では作業着姿で過ごす事が多いですが、この日は『新年会だから』と、おしゃれな服を着て来られる利用者さんが多くおられました。またフレンチのコース料理や楽器の生演奏など、普段の生活ではなかなか味わうことのできない貴重な時間を過ごす事ができ、笑顔が多い新年会だったなと感じています。後日、新年会に参加された利用者さんに話を伺うと、「楽しかった」「料理がおいしかった」「音楽が楽しかった」などの意見がありました。一羊会の利用者さん全員が一度に参加することは難しいですが、今後も継続していくことで、たくさんの利用者さんに参加していただけたらいいなと思っています。

すずかけ作業所 千原 菜緒



事業所紹介



「上甲子園すすかけ作業所はこんなところ！」

上甲子園すすかけ作業所 谷口 雄大

「上甲子園すすかけ作業所ってどんなところ？」と聞かれると、「上甲子園すすかけ作業所は2015年4月に開所した就労継続支援事業B型、自立訓練事業（生活訓練）の多機能型事業所で、両事業合わせて利用者18名、職員10名の比較的小さな事業所です。就労継続支援事業B型は、屋外班（除草やワンルーム清掃）と菓子班に分かれて、工賃確保とアップを目指して「働く」ことを中心とした支援を行っています。自立訓練事業は特別支援学校を卒業した方を対象に、大学・短大・専門学校の様な位置づけとして、個別のニーズに応じて様々な支援（作業・調理・買い物・家事等）を2年間の有期限で行っています。その他に地域に対してオープンな場所を作りたいと考えてAptimeCAFE（アプティムカフェ）を設置し、事業所・利用者・作業・商品を知ってもらおう事を目的に、年2回のイベントを開催しています。カフェは遠くから自転車を走らせてクッキーを買いに来てくださる方もいたり、イベントも少しずつですが、近隣の方に知っていただけるようになったのか多くの方に来ていただけるようになってきました」…と長くお堅い答えになってしまいましたが、シンプルに言うと「働くときは働く（やるときはやる）」「遊ぶときは遊ぶ」メリハリがあって、加えてアットホームなところ！です。任された仕事を黙々と行っている利用者の表情や背中がカッコいいです。利用者のちょっとした一言に笑われ、ちょっとした気遣いに励まされ共に歩んでいます。そんな利用者とは日々一緒にいると、この魅力をまだ知らない人にも「知ってほしい・気付いてほしい」という想いになります。上甲子園すすかけ作業所はこれまで発信する事を大事にしてきた事業所でもあります。これからも作業や活動・イベントを通して地域に根ざせるよう皆さんの魅力を発信し続けて生きたいと思えます。





法人・事業所御寄付の報告 (敬称略・順不同)

2018年11月8日～2019年1月11日

***法人**

虎の子会 三浦昇 (2件) 3件

***一羊園**

宮崎龍雄 森野和雄 脇田捷也 簾編洋子 天野朗代 大山浩 笹川利彦 田中美英子 芝佳子
 岡田浩之 河津睦子 北村典子 中島一敏 濱伸子 山口苑 石川正史 矢萩祐子 斎藤正市
 高野重子 一羊園家族会 (3件) 22件

***すずかけ労働センター**

すずかけ労働センター保護者会 南野道明 光武真理 3件

2018年度一羊会後援会会費 (敬称略・順不同)

(2018年11月12日～2019年1月11日)

***法人団体の部**

すずかけ第2作業所保護者会 1件

***個人の部**

田中英子 三浦昇 藤田信子 三原まゆみ 宮脇葉子 麻生史子 山口苑 奥嶋育子 吉村武代
 福田百合子 八木春作 黒田輝子 大西勝代 森野和雄 簾編洋子 笹川利彦 芝圭子 17件

2018年度一羊会後援会御寄付 (敬称略・順不同)

(2018年11月12日～2019年1月11日)

***法人団体の部**

法心寺 上野神社 関西学院教会婦人会 日本基督教団西宮教団 夙川学院宗教部 サンコウ消毒 6件

***個人の部**

小久保京子 三浦昇 中村栄子 藤本美保子 浦山亜紀世 唐沢文子 渡邊絹子 竹内瞳
 西眞弓 池上知佐子 飯田喜美子 三原昭博 藤本政潔 黒田輝子 黒木真弓 田中幸二
 八島満紀子 中谷美津子 林泰子 青木純子 宮崎龍雄 脇田捷也 森野和雄 善塔勝一郎
 高谷知子 匿名 前川拓郎 大目修平 河合万貴子 芝圭子 下浦洋子 渡辺洋子 32件



● 103号後援会より ●

今年度も多くの方にご支援を頂き、ありがとうございます。紙面を借りて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

今号が皆様のお手元に届く頃には、もう少し暖かくなって春を感じているころでしょうか。季節の変わり目でもございますので、お身体ご自愛ください。

感謝